

2016/8/4

20年東京大丈夫？



小池百合子
東京都知事

小池知事を酷評 丸川氏が五輪相に



丸川珠代
五輪相

5/14
毎日

東京都知事選で小池百合子知事を「スタンドプレーばかりうまい人」と酷評していた丸川珠代氏が3日、五輪担当相に就任した。2020年東京五輪・パラリンピックに向け、国と都の調整役を担うポスト。都職員からは小池知事との関係を不安視する声が出ている。

東京大会の開催費用は招致段階の想定から大幅に膨らむ見通しだ。国と大会組織委員会、都の3者で負担の見直し作業を進めているが、小池知事は2日の就任記者会見で、大会費用を検証する調査チームを設け、「予算の軽重、準備態勢、工程表の妥当性を調

査する」と宣言。9月下旬開会予定の都議会までに中間報告をまとめる考えだ。

一方、丸川氏は都知事選で自民党が擁立した増田寛也氏の応援演説に何度も登壇。「都議会と事を構えようとする人が知事になれば、時間を無駄にする」と指弾していた。

小池知事は組織委の森喜朗会長との関係も良好ではないとの指摘があり、森会長は今後の協力態勢は「小池さん次第」とけん制している。ある都幹部は「前に進めないといけないことがたくさんあるのに、このメンバーでは一騒動ありそうだ」と不安を隠さず「大人の対応をしてもらいたい」と話す。

小池知事は3日、丸川氏の五輪相起用について報道陣に問われ、「国民、都民にとっていい大会になるよう連携したい」と強調。選挙戦での批判については「よく存じておりませんが、それぞれ立場もあるんでしょう」と応じた。

5月5日夜、ロンドン郊外にある英首相別邸「チェッカーズ」。キャメロン首相(当時)は招いた安倍晋三首相に記帳を求めた。

「以前に来た日本人は……」とキャメロン氏がめくって、ようやく出てきたのは1973年の田中角栄首相。日本の首相がチェッカーズに単独で招待されたのは約43年前までさかのぼる。角栄氏は外交でも足跡を残している。

ちょうどいま角栄氏の出生地の近くにある新潟県柏崎市の田中角栄記念館と長岡市で「遺墨展」が開かれている。支持者らに贈った掛け軸や色紙が並ぶ。

「以和為貴」(和をもって貴しとなす)や「不動心」は分かりやすい。「蜂懶採花疎」(蜂は蜜を採らずに花の間をゆっくり飛んでいる)という難しい詩文もある。豪胆なイメージが強い角栄氏だが、墨跡からは繊細な柔らかさもにじむ。

『政治家と書』の著書がある松宮貴之・仏教大非常勤講師は「戦後日本の政治家として傑出した力量」と評する。唐の第2代皇帝太宗(李世民)の書風が下地になっており「穏やかで温かく明るい、胆力に満ちて野太い人柄がしのばれ

7/24 日経

角栄ブームが鳴らす警鐘

風見鶏

る」という。

角栄氏ほど毀誉褒貶(きよぼうへん)がはげしい政治家はいない。高等小学校で悪口を言っていた人が褒卒で宰相に上り詰め「今太めてい。悪いところもあつたけど、冷静になって考えると総じてよかったというところで見直されたのでは

亡くなってから22年余「歴史になったからです。客観的に語れるようになったということじゃないですか」と話すのは石破茂地方創生相。木曜クラブ(旧田中派)の事務局スタッフとして政治の世界に入った石破氏のように、じかに角栄氏と接した人はいまや永田町では数少ない。

角栄氏の後援会「越山会」の三羽がらすに数えられた「さはない」。安倍首相を庶民とは違う「貴種」に分類する。

角栄ファンを公言する民進党の馬淵澄夫元国土交通相は「庶民の暮らしに根付く喜びを大切にすると人間味あふれる政治に国民は飢えている」とみる。国民の痛みをどう背負うかという政治家の覚悟を安倍政権から感じられないだけでなく、旧民主党政権でも感じられなかったと自省する。民進党など野党を含めた政治全体への告発と受け止める。

角栄氏を「政治の師」と仰ぐ生活の党の小沢一郎共同代表は「田中先生がキャッチフレーズに掲げた『決断と実行』がいまの社会に欠けている。精神的な不安定さといえるかもしれない。強いリーダーシップに引かれていると解説する。

最近の政治家が小粒になったと嘆いても仕方がない。だれもが成長の果実を感じられる右肩上がりの時代には戻れない。だが角栄氏を懐かしむ民意からくみ取る教訓はないだろうか。角栄ブームはいまの政治に警鐘を鳴らしている。次の政局をにらむ政治家たちにとってヒントにもなる。



73年、ロンドンでヒース英首相と会った田中角栄氏(写真上、UPI共同)と角栄氏直筆の書

(政治部次長 佐藤賢)

ブロックチェーンがお墨付き

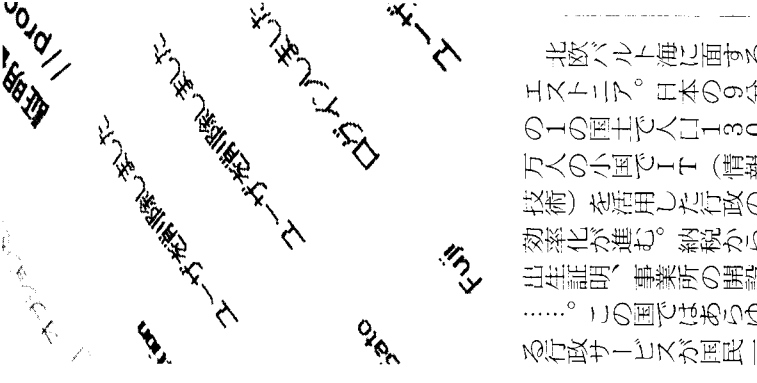
企業が開発したブロックチェーン技術を使ったシステムはアクセスした記録を残す（東京都江東区）

現代の中央銀行のモデルはイングランド銀行にある。1844年、ポンド紙幣の事実上の独占発行権を同銀行が得たことが始まりだ。中央銀行が発行するから価値がある。長く染みついた常識を二つのイノベーションが覆す。2009年にサトシ・ナカモトを名乗る人物が考案したとされる仮想通貨「ビットコイン」である。

新産業創世記

そう、個人が主役

舗での支払いに使われているのも事実だ。ビットコインの信用を裏付けるのがブロックチェーンと呼ぶ技術だ。ネットワークでつながった無数の個人が暗号化した取引情報を検証し、お墨付きを与える。今月、香港を拠点とする仮想通貨取引所ビットコインがハッキングによって顧客口座から約65億円相当の「ビット



北欧バルト海に面するエストニア。日本の9分の1の国土で人口130万人の小国でIT（情報技術）を活用した行政の効率化が進む。納税から出生証明、事業所の開設……。この国ではあらゆる行政サービスが国民一

取引情報を検証
田でもトルでもない新たな「通貨」の利用者は

世界で延べ1400万人超。取引価格が乱高下するから、投機的に購入する人もいる。だが、スマートフォン（スマホ）片手に海外送金や実際の店

コインが盗まれたことが明らかになった。安全性への疑念も呼ぶが、同業ビットバンク（東京・

中銀や役所さげば

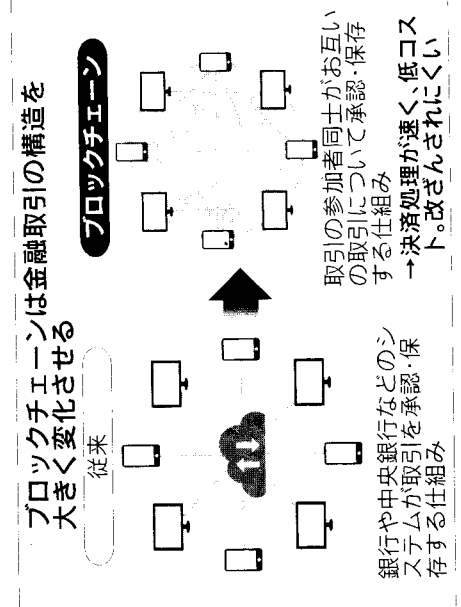
の広末紀之社長は「例え言わない」銀行強盗に遭ったようなもの。ブロックチェーンも広がる。

そのものは揺らがない。用途は仮想通貨以外にカード1枚で済む。

ひとりに割り当てられたIDを埋め込んだICカード1枚で済む。回国に拠点を置くIT

3/15 日経

ブロックチェーン 「インターネット以来の発明」



登記簿や戸籍など、社会インフラを支える新たな情報システムを実現できる可能性があり「インターネット以来の発明」とも呼ばれる。世界の金融大手が40行以上集まってブロックチェーンの共同開発を進めているほか、数多くの業種で実証実験が始まっている。国内では業界団体「日本ブロックチェーン協会（東京・港）が立ち上がるなど活用に向けた動きが出ている。

3/22 日経

お墨付きのブロックチェーン

インターネット上の複数のコンピュータで取引の記録を共有し、互いに監視し合っている記録を鎖（チェーン）のようにつないで蓄積する仕組み。「分散型台帳」といわれることもある。仮想通貨「ビットコイン」の取引を成立させるために開発された技術だったが、金融にIT情報技術）を活用するフィンテック

を中心と幅広い分野で応用が検討されている。巨大なサーバで一括管理する従来の手法に比べてシステムを低コストで構築でき、さらに処理速度も速くできる。さらに改ざんのないデータを共有する「基礎技術であるため、中央銀行など当局による取引の承認や記録が必要な」との指摘がある。不動産の

企業カードタイムが開発した認証システムが行政サービスを支える。同社は07年の創業以来、ITインフラ作りを進める政府に協力。ブロックチェーン技術を取り入れたことで、膨大な処理を瞬時にこなし、サイバー攻撃にも耐えるシステムを作り上げた。米国でも事業を拡大、医療や交通の分野でも顧客を増やす。ディレクターのマイケル・ルベル氏（40）は「もともとエストニアは国が小さい。世界市場をめざして開発してきた」と語る。ブロックチェーンの採

用は日本でも進む。
崩れる中央集権
企業向け管理システムを販売するサテライトオフィス（東京・江東）は7月半ばからブロックチェーン技術を活用した社内管理システムを使い始めた。提供したのはベンチャー企業のシビラ（大阪市）。記録が残るといってブロックチェーンの長所に目を付け、社内外からの不正アクセスの動作記録から犯人を割り出せるようにした。シビラの藤井隆嗣社長（31）は確信する。「ブロックチェーンを生かせば我々の生活はもっと便利になる」。中央銀行や政府が担ってきた「お墨付き」という行為。強大な権力を持つ機関が手掛けるから、認証を受けたモノの価値も高まった。だが、ブロックチェーンでは世界に散らばる無名の個人や小さな企業であっても認証作業ができる。デジタル技術が、世界を長く支配してきた中央集権の構造を突き崩す。

中央銀行や政府が担ってきた「お墨付き」という行為。強大な権力を持つ機関が手掛けるから、認証を受けたモノの価値も高まった。だが、ブロックチェーンでは世界に散らばる無名の個人や小さな企業であっても認証作業ができる。デジタル技術が、世界を長く支配してきた中央集権の構造を突き崩す。